

ザンビア経済月報（2024年2月）

在ザンビア大使館

1 燃料価格、引上げ

対米ドル・クワチャ安及び不安定な国際燃料価格を受け、2月1日以降、ガソリン価格を1リットル当たり29.98クワチャから34.19クワチャに、ディーゼルを29.96クワチャから32.15クワチャに値上げする。(Daily Mail 2月1日)

2 牛乳生産量、10%増

牛乳の最低価格が1リットル10クワチャに値上げされたことを受け、牛乳の生産量は2022年の8,370万リットルから2023年は9,360万リットルに増加した。ザンビアにおける主な牛乳加工業者は、ザンビアのZambeef及びDairy Gold、インド系のVarun及びフランスのLactalis。(Daily Mail 2月2日)

3 モバイルマネー取引、4,520億クワチャに達する

モバイルマネー取引額は、2022年は2,958億クワチャであったが2023年には52.8%増の4,520億クワチャとなり、取引件数は同時期15億件から46.7%増の22億件となった。これは、公共部門における継続的なデジタル金融サービスの採用が要因。(Daily Mail 2月2日)

4 ザンビア中央銀行、法定預金準備率を9%引上げ

中銀は、インフレに影響を与えている高い外貨需要に対処するため、法定預金準備率を17%から26%に引き上げた。(Times of Zambia 2月3日)

5 モパニ、225,000トン生産予測

モパニ銅鉱山(MCM)は、全面稼働した場合、

225,000トンの銅生産を見込めるとした(2023年は64,000トン)。また、ZCCM-IHは、2021年のMCM買収で発生したMCMがスイスのグレンコアに負っている15億ドルの債務について再編することでグレンコアと合意に至ったとした。(Daily Mail 2月3日)

6 動物用製薬工場開設

インド系African Agrovet Zambia及びDumax Pharmavet Group of Companiesは、2,200万米ドルの動物用製薬工場をルサカのNgwerereに設立した。この工場では、500人の雇用が創出される。(Daily Mail 2月5日)

7 KoBold Metals、ザンビアで銅を発見

米系のKoBold Metals社は、ザンビア史上最大の銅埋蔵量を有する鉱床を発見したことを発表。(Lusakatimes.com 2月6日)

8 グローバル・インフラ投資パートナーシップ(PGI) ロビト回廊民間セクター・フォーラムの開催、主要融資表明

ルサカで、グローバル・インフラ投資パートナーシップ(PGI)ロビト回廊民間セクター・フォーラムが開催され、ザンビアのKobaloni Energy社のChingolaにおけるコバルト精製に対し、Africa Finance Corporation (AFC)が1億米ドルの融資を行うこと、米国国際開発金融公社がザンビアのSeba Foods Zambiaに対し1千万米ドルの融資を行うこと等が表明された。また、アメリカ貿易開発庁は、ザンビアのREV UP Solar Ventures Zambia社に対し、Solweziでの200MWの太陽光発電及びバッテリー・エネルギー貯蔵システムの構築にお

ける実現可能性調査のため無償資金を供与することを発表した。(Times of Zambia 2月13日)

9 ドイツ企業、4,900万米ドルのKafue太陽光発電事業に目を付ける

ドイツのSevenyrd Limtied社は、Kafue郡Chanyanya地域における4,900万米ドルの50MW規模の太陽光開発事業を提案した。(Times of Zambia 2月15日)

10 インド、医薬品供給のさらなるパートナーシップを求める

在ザンビア・インド高等弁務官事務所は、製薬業界におけるザンビアとインドの協力関係追求のためインドの製薬企業とザンビア当局とのビジネスミーティングを開催。インドは、2022年ザンビアに1億1,900万米ドル相当の医薬品を輸出しており、ザンビアにおけるマーケット・シェアは30%と1位である。(Daily Mail 2月15日)

11 ザンビア中央銀行、インフレ抑制のために借入率を引き上げる

クワチャ安を止め、インフレを目標範囲内に抑制するために、中銀は政策金利を1.5%上げ12.5%とした。(Daily Mail 2月15日)

12 クワチャ、年末までに対米ドル・15クワチャまで上がる可能性

経済学者は、対米ドル・クワチャ高は今後も進行し1米ドル15クワチャに達する可能性があるとした。このクワチャ高は、中銀による法定預金準備率の引上げにより市場のクワチャが制限されたこと及び輸出益追跡枠組みの導入により確実に米ドルが国内に入るようになったことが主な要因とした。(Times of Zambia 2月19日)

13 政府、電力不足対策

ザンビア各地で発生している干ばつの影響によ

り、十分な水力発電量を維持できないことから、政府は不足電力を補完するために、140の小規模太陽光発電所の活用を行うとした。2月初頭、Zambezi River Authorityは、発電のための配水量を昨年比で50%削減すると発表。カパラ・エネルギー大臣は、日中は太陽光発電を使用し、夜間は水力発電を使用する方針を打ち出した。(Daily Mail 2月19日)

14 アフリカ開発銀行、グリーン・ファンドに1,500万米ドルを融資

アフリカ開発銀行は、クリーン・テクノロジーと低炭素の実現を支援するため、貿易開発銀行に対して1,500万米ドルの追加の株式投資を行うことを明らかにした。(Daily Mail 2月20日)

15 IMF、構造改革は大変だが必要

財務省がInternational Growth Centre及びIMFと共催で、第2回Zambia Economic Growth Forumを開催した際、IMFのクリストウ・アフリカ局次長は、ザンビアの構造改革は非常に難しいが、貧困層が裨益する成長という道筋を付けるためには重要であるとした。(Daily Mail 2月23日)

16 政府、中国と1億米ドルの取決めをする

ザンビアのエネルギー、農業、鉱業セクター及び特定目的の車両の貿易を促進するために、ザンビア政府は中国と総額1億米ドル相当の6つの覚書に署名した。このMOUには、エネルギー・エンジニアリング事業、農業機械貿易パートナーシップ及び国際保管庫のプロジェクトが含まれる。(Daily Mail 2月24日)

17 輸出益追跡枠組み、1億米ドルを中銀にもたらす

輸出益追跡システムは、顕著な進展を見せ、同システムに1億米ドル相当を流入させた。(Times of Zambia 2月28日)

18 ヒチレマ大統領、サウジアラビアからの投資を受け入れる準備はある

ヒチレマ大統領は、サウジアラビアのアルファドゥレイ環境・水・農業大臣率いるビジネスミッションと会談し、鉱業及び農業、特にジョイント・ベンチャーを通じた取水や灌漑分野へのサウジアラビアの投資について受け入れる準備があるとした。(Times of Zambia 2月28日)

19 COMESA 内貿易、10%の成長

COMESA は、域内輸出が 2021 年の 1,280 億米ドルから 2022 年は 1,410 億米ドルに増加したとした。域内のコンゴ（民）、エチオピア、マラウイ及びセーシャルを除く国で輸出の増加が見られた。2022 年最も取引された商品は、硫黄、酸化コバルト、水酸化物、パームオイル、精製ガソリン、尿素、電気、綿花、硫酸、トウモロコシ及びメイズ粉である。(Daily Mail 2月29日)

(了)